

令和六年三月二十五日（月）

令和五年度修了式

児童代表の言葉

くあつという間の一年間

そして 意味のある一年間でしたく

今日で五年生としての学校生活が終わります。あつという間の一年間でした。コロナの影響も緩和され、ふだんの生活も行事も以前の様子を取り戻し、マスクを外した先生や友人たちの笑顔もみられること、こうして一年を無事すごせたことに、感謝しています。

そんな中今年は、開校四十周年記念という、清新第一小学校の大きな節目に立ち会え、風船を飛ばしたり、航空写真を撮ったりと、とても貴重な経験をさせていただき、とても楽しく、忘れられない思い出になりました。

また、私達五年生は三学期に「ウインタースクール」がありました。スキーやかまくら作りはとても楽しい思い出です。さらに、二泊三日の集団生活を送るという、初めての経験の中で、友達と協力しあうことの大切さ。また、日頃当たり前になっていましたが、いかに先生や両親にサポートしてもらってるのかも気が付きました。「助け合い、思いやりをもって、日々に感謝する」そんなことを学んだ三日間です。

来年度、清新第一小学校の新しいスタートにあたる四十一年目、私達五年生は六年生になります。この一年間での経験は、最高学年になる私達にとって大きな意味のあるものでした。皆さんも今の学年から一つ上の学年になります。どの学年でも下の学年のお手本となるように先生や友達、また学年をこえて、お互い「思いやりの心」をもって協力しあいながら学習や、日頃の学校生活に取り組んでいきましょう。

